

2015年度 FD調査プロジェクト活動計画

FD調査プロジェクト

1 活動目的

「学生による授業改善アンケート」各種集計の企画・実施、集計・分析・評価及び集計結果に基づく提案、各種集計に関する各学部等の取り組みへの支援などを行う。

2 活動計画

1) 期首・期中「学生による授業改善アンケート」

- ・実施状況に基づく改善案の検討
- ・実施方法・質問項目への見直し

2009年度より実施してきた期首・期中「学生による授業改善アンケート」は、期末アンケートと比べて、より短期的なサイクルで学生の声を聞くことで、教員が自らの授業の改善に役立てるために行っているが、利用率が極めて低いとの課題を抱えている。活用事例の調査や利用者へのヒアリング等を行い、改善案の検討を行う。

参考（2013、2014年度実績）：

2013年度春学期：利用回数 21回、利用者 7名、実施科目 7科目

2013年度秋学期：利用回数 17回、利用者 4名、実施科目 6科目

2014年度春学期：利用回数 14回、利用者 7名、実施科目 13科目

2014年度秋学期：利用回数 22回、利用者 5名、実施科目 7科目

2) 期末「学生による授業改善アンケート」(Web)

- ・2014年度春学期～2015年度春学期全学集計結果報告書の発行
- ・Web移行後の回答傾向の変化等を調査し、集計方法の見直しと質問項目見直しの検討と提案
- ・回答結果/自由記述回答とGPA等のクロス集計方法の検討
- ・学生へのフィードバック方法の検討
- ・特別集計、データ提供の対応

2014年度秋学期より、期末「学生による授業改善アンケート」は従来のマークシート方式よりWeb方式に変更となった。Web化による学生の回答傾向の変化や回答学生の質の変化の有無を分析し、その影響について検討する。そのために回答学生のGPA等とのクロス集計を利用した分析や、集計方法の見直しを行い、適切な質問項目の設定について検討し、提案を行う。

また、分析結果を「学生による授業改善アンケート全学集計結果報告書」にまとめ、発行する。さらにアンケート回答結果の学生へのフィードバック方法に関する検討を行う。

前年度に引き続き、各学部・研究科からの特別集計・データ提供に対応し、その情報に基づき、事例紹介や有効活用の方法を検討する。